

総会後研修会・見学会 1917年3月5日(日)

『氷川神社・大宮公園から大宮盆栽美術館&盆栽園へ』

3月5日(日)、午前の総会の後、13時に氷川参道二の鳥居に15名が集合。

日本一長い参道の終点三の鳥居から2,000年の歴史を有する武蔵一宮氷川神社の境内を通り、埼玉県営第一号の大宮公園に入った。

台地と低地が入りくんだ樹木の多い公園である。アカマツとソメイヨシノの疎林からコナラ・クヌギの雑木林跡までであった。

大宮区高鼻町という地名のいわれについて質問があった。大いなる宮居があることから、大宮町⇒大宮市⇒大宮区となった。その昔、出雲大社から東国にも適当な地に大社を設けようと下見に参上した使者の鼻が高かったことと言う伝説がある。また、見沼(御沼)の高い岬が突き出ていたからではないかと言う説もある。

大宮公園を出て、東武鉄道大宮公園駅の踏切を渡って、北区盆栽町の南部、愛称盆栽村に到着した。当地での主要な見学地は、大宮盆栽美術館と清香園で、希望者には漫画会館も案内した。

盆栽村

さいたま市北区盆栽町の南部の盆栽園が散在する地域の愛称である。

1923年(大正12年)の関東大震災で被災した東京小石川周辺の盆栽業者がこの地に移住したのが始まり。20年足らずで30軒の盆栽園が開かれた。

しかし、第二次世界大戦が始まると、軍部から贅沢な商売と非難されて営業が難しくなり、戦後は後継者が不足し、現在は9園が営業している。

大宮盆栽美術館

世界の盆栽文化振興の核となる施設である。

盆栽の名品や盆栽に関わる美術品、歴史・民俗資料等が展示されている。

学芸員から懇切丁寧に解説していただいた。

清香園

江戸嘉永年間の創設と言う。

いわゆる盆栽マニアだけではなく、まったくの初心者にも親しみやすい盆栽教室を開催し、女性や若者に人気が出ているようだ。5年ほどの短期間でも立派な盆栽が完成できるということで、テレビの取材も多いそうだ。

漫画会館

日本近代漫画の先駆者「北沢楽天」の偉業を記念し、楽天の旧宅を改築した会館。

政治風刺から家庭漫画まで多彩な楽天の資料を始め広く漫画文化の普及を目指した全国でも珍しい公立の漫画専門館。

漫画に関わる特別展や一般市民公募の漫画展も開催している。

(NPO法人自然観察さいたまフレンド・小野 達二 記)